

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和2年第6回沖縄県議会(定例会)

09月30日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	照屋 守之(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 玉城知事の発言について</p> <p>(1) 9月11日の会見で誰が新しい自民党の総裁になってほしいかと問われ、玉城知事は「私が首相になっていただきたいのは小沢一郎議員です」と答えている。そこで伺います。小沢一郎議員は自民党に復党したのか、あるいは復党する予定があるのか。知事に伺います。</p> <p>2 オール沖縄及びオール沖縄県政について</p> <p>(1) オール沖縄及びオール沖縄県政の目的と現状を伺う。</p> <p>(2) オール沖縄県政は国の予算を増額することができず、大型MICE施設の建設もできず、辺野古問題も反対しながら工事は進められている。なぜ問題提起が主になり解決しないか伺う。</p> <p>(3) オール沖縄県政の人事は選挙絡みの仲間・身内人事であると思う。県知事の特別秘書・参与・政策調整監・知事公室参事、これらの任命責任者は県知事であると思うがこの認識でよいか伺う。</p> <p>3 玉城知事の緊急事態への対応について</p> <p>(1) 首里城火災について</p> <p>ア いまだに管理責任者である県の責任の所在が明確にされていないと思う。なぜか伺う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>ア 対策本部等での取組で感染拡大防止や経済対策が行われているが、玉城知事の県政の責任者としてのリーダーシップが発揮されているようには見えないと思う。玉城知事の見解を問う。</p> <p>4 会食問題と万国津梁会議について</p> <p>(1) 会食は契約を前にして知事公約である万国津梁会議の関係者とともに意見交換も含めた会食であった。この理解でよいか。改めて玉城知事の見解を問う。</p> <p>(2) 万国津梁会議は昨年と今年度の委員報酬が大きく異なり、県行政としての問題を指摘せざるを得ない。2万7000円の委員報酬を指示したのは玉城知事であると思う。この認識でよいか伺う。</p> <p>5 普天間・辺野古問題の解決に向けて</p> <p>(1) 9月9日に軍特委員会で辺野古・普天間視察及び久辺3区長と意見交換を行った。そこで伺う。</p> <p>ア 3区長からインフラ整備、区民が不利益にならないような振興策の要望が出された。県も3区と意見交換を行い、国に要請すべきであると思う。県の見解を問う。</p> <p>イ 辺野古区長は工事が進む一方で振興策が進まず、区民から不満が出ているとのことであった。今、まさに県の出番であると思う。辺野古を訪ね現状を確認し、一緒になって課題を解決してほしい。県の見解を問う。</p> <p>6 沖縄振興を求める根拠について</p> <p>(1) 新聞報道で島袋純教授は、「基地と振興のリンク」は政府にとっては当然の考え方だ。県内の半数の人は基地と振興のリンクは仕方がないと思っている。だが、基地問題への抗議の声をやめれば沖縄振興予算はなくなるだろう。政府からすれば予算を与える必要が</p>			

なくなるからだ。改正沖振法では、明確に基地の見返りの予算と打ち出してくる可能性も排除できないとしている。そこで伺います。

ア 万国津梁会議のSDGsの委員長も務める島袋純先生の見解です。玉城知事も同様の見解か伺います。

7 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和2年第6回沖縄県議会(定例会)

09月30日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	金城 勉(公明党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 新型コロナウイルス感染防止対策について</p> <p>(1) 感染防止対策と社会経済活動の両立は必要不可欠。そのためには実効性ある水際対策が重要であります。空港での離発着の人々の検査体制及び隔離体制、医療提供体制について伺います。</p> <p>(2) 秋口から冬にかけて新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行の可能性が指摘されているが、県の認識と対応策を伺います。</p> <p>(3) 次の波に備えて医療提供体制の確保、医療人材の確保、さらに宿泊療養施設の確保等が求められます。どう取り組むか伺います。</p> <p>(4) 医師が必要と判断したときのPCR検査や質の高い抗原検査の実施体制はどうか。また、検体採取のために必要な防護服などの確保はどうか。</p> <p>(5) 新型コロナへの対応で保健所業務の過重負担、人員不足が深刻化していると言われておりますが、県内の状況と対応を伺います。</p> <p>(6) 離島や僻地など医療提供体制が脆弱な地域への対応について、オンライン診療や遠隔医療の活用状況はどうか。</p> <p>2 コロナ禍の下での社会経済活動の取組について</p> <p>(1) 沖縄経済の基幹産業である観光業の復活は喫緊の課題であります。沖縄観光復活計画の取組を伺います。</p> <p>(2) 7月22日から始まった国の「GoToトラベル」事業による県内への入城観光客数はどうか。また、同事業によるコロナ感染の影響はどうか。</p> <p>(3) 東京都も「GoToトラベル」事業の対象地域になりました。観光誘客につなげる取組はどうか。</p> <p>(4) 「GoToイート」キャンペーンへの対応はどうか。</p> <p>(5) 県外からの修学旅行の予約状況はどうか。また、誘致戦略はどうか。</p> <p>(6) おきなわ彩発見キャンペーンの成果と課題について伺います。</p> <p>(7) 県内企業の新型コロナの影響による休業、廃業、倒産の実態はどうか。</p> <p>(8) 新型コロナウイルスの影響による解雇、失業の実態はどうか。</p> <p>(9) 無利子、保証人なしの緊急小口資金、総合支援資金の特例貸付制度の利用状況はどうか。</p> <p>(10) 中小企業や個人事業所、フリーランスなどへの支援策として持続化給付金制度がありますが、昨今、それを悪用しているニュースが流れています。あるまじき行為であり厳正に対処すべきであります。不正受給の実態と対策を伺います。</p> <p>(11) 国は、新型コロナウイルス感染症への対策として、「新しい生活様式」「新たな日常」を築くためデジタル化を大胆に進めていく方針を示しています。オンライン、テレワーク、ワーケーションなど行政、企業、教育、文化芸術などあらゆる分野での取組が求められていますが、県の対応を伺います。</p> <p>3 気候非常事態宣言について</p> <p>(1) 世界や日本の各地で気候変動への対策として、気候非常事態宣言を表明する国や自治体が増えています。その要因、背景をどう考えますか。</p>			

- (2) 沖縄県として気候非常事態宣言の表明についての考えはどうか。
 - (3) 2050年までにCO2排出ゼロを目指す「ゼロカーボンシティー」宣言の自治体が急増しています。沖縄県の取組はどうか。
- 4 東部海浜開発事業について
- (1) 埋立工事、橋梁設置工事の進捗及びスケジュールについて御説明ください。
 - (2) 平成23年度作成の土地利用計画について、沖縄市は時代状況の変化もあり、計画変更を検討していますが、県の考え方はどうか。
 - (3) 鳥獣保護区や特別保護地区の指定について、沖縄市との協議、合意形成はどうか。
- 5 医療・教育・福祉政策について
- (1) 子供や乳幼児にとって予防接種の遅れは、防げるはずの病気にかかる危険性が高まります。適切な時期に接種することが求められます。コロナ禍ということで予防接種と乳幼児健診が先延ばしになっているケースがあると言われていています。県内の実態はどうか、また、注意を喚起する必要があると考えますが、いかがでしょうか。
 - (2) こども医療費助成事業の通院費を中学卒業まで拡充することについて速やかに実施すべきです。次年度の方針を伺います。
 - (3) 県立美咲特別支援学校、はなさき分校の超過密状況は待ったなしの改善が求められています。対策はどうか。
 - (4) 心臓移植など移植医療を本土で受ける場合、家族の付添いに伴う宿泊費等の支援について伺います。
 - (5) 独り親家庭の貧困問題の要因にもなっている養育費不払い問題について県内の実態と対策はどうか。
- 6 我が党の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和2年第6回沖縄県議会(定例会)

09月30日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	當間 盛夫(無所属の会)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 基地問題について</p> <p>(1) 東・南シナ海における安全保障の情勢と万国津梁会議からの提言「国際交流拠点としての沖縄」の構築をどのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(2) 普天間基地の訓練の移転・機能分散等を実現するために、「馬毛島活用」を当然に政府に要請すべきではないか伺う。</p> <p>(3) 玉城県政での那覇軍港移設合意は、狭隘化する那覇港湾民活施設拡張からも重要である。概算要求を含めた早急な対応が求められているが、進捗状況を伺う。</p> <p>2 コロナ対策と経済回復について</p> <p>(1) 那覇空港での水際対策は重要である。TACO(旅行者相談センター)の体制強化と国内線抗原検査等の体制構築について取組状況を伺う。</p> <p>(2) 修学旅行に対する取組状況と国の支援を含めた対策を伺う。</p> <p>(3) 「脱東京」での企業の移転、香港からの米系企業の移転検討など、本県が取り込む政策を検討すべきではないか伺う。</p> <p>3 振興計画について</p> <p>(1) 河野太郎沖縄担当相からの基地問題と振興計画の「ひっくるめ論」について、知事の見解を伺う。</p> <p>(2) 新たな沖縄未来戦略は「民間活力」と「規制緩和」で国への財政依存体質から脱皮する大胆な政策が必要ではないか。見解を伺う。</p> <p>(3) 令和3年度振興予算の3000億円台確保とあるが、観光関連など県内景気が大打撃を受ける中、公共投資の拡大を求める4000億円台の要請をすべきではなかったか、見解を伺う。</p> <p>(4) 国において行われる首里城復元について、首里城復興基金の活用は県民の声を真摯に聞き、柔軟性を持った有効活用策を図るべきではないか。見解を伺う。</p> <p>4 離島振興について</p> <p>(1) 離島航路運航安定化支援事業について、渡嘉敷・座間味航路の高速船への買取り支援の取組状況を伺う。</p> <p>(2) 小規模離島における公営住宅の着工状況と沖縄型木造公営住宅の可能性について、取組状況を伺う。</p> <p>(3) 粟国島航空路線の第一航空との裁判状況と路線再開に向けての取組状況を伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和2年第6回沖縄県議会(定例会)

09月30日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	島袋 恵祐(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 新型コロナウイルス問題について

- (1) 感染症治療の最前線を担う保健所が新型コロナ感染拡大によって業務過多となり、深刻な逼迫状態に陥った。次にやってくる新型コロナの流行や新たな感染症に備えて、保健所の体制強化が必要だと考えるが、県の見解を問う。
- (2) 新型コロナ禍で、学生の皆さんの生活や学びに深刻な影響を与えている。学生等の苦難軽減のために、県は7月28日に、「コロナ禍学生等就学・生活相談センター」を開設した。学生らの窮状に耳を傾け、親身に寄り添い解決に向けて取り組むセンターができたことは、学生の皆さんの心のよりどころになるのではないかと考える。これまでの取組状況や今後の取組について問う。
- (3) 県が実施をしている「おきなわ彩発見キャンペーン」事業の目的と実績を問う。
- (4) 7月上旬に米軍普天間基地やキャンプ・ハンセンで新型コロナ感染のクラスターが発生し、他の基地にも感染が広がった。県民からは「安心して街を歩けない」「感染経路を明らかにしてほしい」などの不安の声が上がった。また、基地従業員が家族にいる小中学生の家庭は「子供がいじめの標的になるかも」と、子供に学校を欠席させる事態も広がり、県民生活に多大な影響を与えた。そこで何う。
 - ア 米軍基地関係者の感染状況と、感染が広がった原因は何か問う。
 - イ 基地従業員や出入り業者の定期的なPCR検査等の実施、必要に応じて基地従業員の家族への検査を国の責任で行うべきだ。県の見解を問う。
 - ウ 在日米軍に対する不十分な検疫措置や移動制限がなされない背景には、検疫法などの国内法が適用されない日米地位協定の存在がある。新型コロナ危機の下で露呈した米軍基地あるがゆえの感染拡大、繰り返し返される基地被害から県民の生命と暮らしを守るために日米地位協定の抜本改定は喫緊の課題と考えるが、県の見解を問う。

2 成人期の発達障害者の支援について

- (1) 成人期の発達障害者の人数、相談件数や内容を問う。
- (2) 成人期の発達障害者の就労支援の取組状況を問う。

3 ジェンダー平等について

- (1) 県は「女性の環境や能力向上に関する調査」を行っているが、調査結果の概要を問う。
- (2) 学校の制服は、男女の区別を図り、「男らしさ」「女らしさ」を強要するものであり、生徒一人一人の「自分らしさ」が保障されていないと考える。制服選択制の導入について、県の見解を問う。
- (3) 幼少期から男女の性別間で優劣をつけることなく平等でなければいけないという観点からも、学校の男女混合名簿の導入は必要だと考えるが、県の見解を問う。
- (4) LGBT・SOGIなど、性的マイノリティーに対する差別をなくすことは、性の多様性を認め、個人の尊厳が大切にされる社会構築のために必要と考えるが、県の取組を問う。
- (5) 夫婦同姓を法律で強制している国は日本だけとなっている。結婚時に改姓するのは9割が女性で、仕事や生活などで様々な不利益を女性は受けている。ジェンダーの観点からも結婚時に姓を同姓、別姓が選択できる「選択的夫婦別姓制度」が導入されるべきだと考えるが、知事の見解を問う。

4 泡瀬干潟ラムサール条約登録について

(1) ラムサール条約湿地登録に必要な泡瀬干潟の鳥獣保護区及び特別鳥獣保護区の指定について、進捗状況はどのようになっているのか伺う。

5 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和2年第6回沖縄県議会(定例会)

09月30日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	喜友名 智子(ていーだネット)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 新型コロナ対策について</p> <p>(1) 新型コロナ対策補正予算の執行状況について伺う。</p> <p>(2) 島嶼県として医療人材をどう育成・確保していくか。新型コロナ対策で見えた課題と今後の取組予定について伺う。</p> <p>(3) インフルエンザ予防接種計画について、国や県内市町村との連携状況について伺う。</p> <p>2 子供の貧困対策について</p> <p>(1) 「沖縄県子どもの貧困対策計画」の進捗について伺う。</p> <p>(2) 「生活困窮家庭食支援連携体制構築事業」の取組状況について伺う。</p> <p>(3) 「子どもの権利条約」についての見解と、県での取り組み状況について伺う。</p> <p>(4) 先進・新興国38か国に住む子供の幸福度を調査した、ユニセフ報告書についての見解を問う。</p> <p>3 再生医療産業拠点構想について</p> <p>(1) 県が豊見城市と協議していた再生医療産業拠点としての細胞培養加工施設の建設に必要な「与根体育施設の設置・管理条例廃止案」が市議会で否決された。これ以降の事業計画の位置づけがどうなったか、県の取組の現状について伺う。</p> <p>4 新たな沖縄振興計画について</p> <p>(1) これまでの沖縄振興計画の目的、また目的ごとの事業予算割合について伺う。</p> <p>(2) コロナ禍からの沖縄経済の回復と次期振計をどのようにつなげる考えか。</p> <p>(3) 「基地と振興」リンク論への見解について伺う。</p> <p>5 粟国島の航空路線再開について、現状と今後の県の取組を伺う。</p> <p>6 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和2年第6回沖縄県議会(定例会)

09月30日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	玉城 健一郎(ていーだネット)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 北谷浄水場について PFOS、PFOAが検出される嘉手納井戸群からの取水を止め、国ダムから暫定的に融通してもらうことについて、進捗状況を伺う。</p> <p>2 新型コロナ対策について (1) 医療体制の現状(受入体制、PCR検査数、抗体検査数)を伺う。 (2) 3月から第1波、7月の第2波について感染拡大と感染縮小の分析を伺う。またこれから来ることが予測される第3波へのこれからの取組について伺う。 (3) 軽症者及び無症状者用宿泊療養施設の借上げについて現状と今後の取組について伺う。 (4) 県民からの声として感染症相談窓口が繋がらないという声はまだまだある。現状、回線数、応対数と応対率について伺う。 (5) 市町村との連携はどのようになっているか伺う。 (6) 経済対策について、沖縄県の現状とこれからの出口戦略について伺う。 (7) 修学旅行受入状況について現状とこれからの取組を伺う。</p> <p>3 犬・猫殺処分について (1) 沖縄県の動物愛護週間への取組を伺う。 (2) 動物愛護管理センターでのこれまでの譲渡件数を伺う。 (3) 犬・猫殺処分数は減ってきているが、その原因は何か。また、殺処分をゼロにするためには何が必要か。</p> <p>4 基地行政について (1) 普天間飛行場における泡消化剤漏出事故について、米軍の報告によるとバーベキューが原因と発表した。県民、市民の生活が脅かされてはいけない。沖縄県の考えを伺う。 (2) 米軍機などによる航空機騒音の軽減措置などについて伺う。 (3) 航空機騒音測定の記録を毎日ホームページに公表すること、沖縄防衛局の目視調査の公開を求める。</p> <p>5 生活困窮家庭支援連携体制構築事業について、事業内容を伺う。</p> <p>6 海岸港湾の管理について (1) 海岸港湾での投棄されたごみの処理に対する費用を伺う。 (2) 海岸港湾での動物遺棄の収容数を伺う。 (3) 不法投棄や動物遺棄がある。管理体制はどうか。 (4) 不法投棄や動物遺棄など犯罪抑止のために、外灯や防犯カメラの設置を求める。</p> <p>7 環境保護について ホープスポットを認定したミッションブルーの世界的に有名な海洋学者アール博士を招いてシンポジウム等の開催を求める声があるが取組について伺う。</p> <p>8 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和2年第6回沖縄県議会(定例会)

09月30日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	玉城 ノブ子(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 辺野古新基地建設について</p> <p>(1) 政府は県民の民意を無視し、新基地建設を強行しようとしている。軟弱地盤の埋立工事を進めるために政府は設計変更申請を県に提出している。設計変更申請の理由とその根拠は何か。軟弱地盤の改良工事の具体的な内容はどうか示されているか。</p> <p>(2) 大浦湾側に存在する90メートルの軟弱地盤は改良することは技術的に不可能と専門家も指摘している。設計変更申請は認められない。知事の所見を伺う。</p> <p>(3) 設計変更申請では、辺野古埋立用の土砂の調達場所を糸満市を含め、全県に広げている。土砂調達地域と調達量について伺う。糸満市からの土砂調達量について伺う。</p> <p>(4) 糸満市は、沖縄戦最後の激戦地となり、多くの人たちが戦争の犠牲となった地域である。戦争で亡くなられた皆さんの血が染み込んだ糸満の土砂を辺野古に搬出することは絶対に許せない。知事の所見を伺う。</p> <p>(5) 県民の民意を無視し、新基地建設を強行することは許せない。新基地建設は直ちに中止することを求める。知事の所見を伺う。</p> <p>2 新型コロナから県民の命と暮らし、医療、教育を守ることにについて</p> <p>(1) コロナ禍の中で子供たちの安心・安全な教育環境を保障していくために、早急に20人程度の少人数学級を実施することについて、今後の課題と対策について伺う。</p> <p>(2) 新型コロナ感染拡大は、家計の悪化やアルバイト収入の減少など、学生生活に深刻な影響を与えている。国の責任で学費の一律半額免除を要求するとともに、県としての支援を実施することについて、知事の見解を伺う。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症拡大による県内全医療機関・介護事業所の経営影響調査をすべきと考える。県の見解を伺う。</p> <p>(4) 全ての医療機関・介護事業所に対し、緊急に前年実績比の減収分の財政支援を行うよう国に要請すべきではないか。県の見解、県の支援策についても伺う。</p> <p>(5) コロナ禍の中での国保減免の実施状況と拡充、今後の取組について伺う。</p> <p>(6) コロナ禍で独り親世帯の生活は困窮している。具体的支援等と拡充について伺う。</p> <p>(7) コロナ禍の中での県民の暮らし、営業を守るために。新型コロナウイルスの感染拡大で失業や解雇、雇い止めが増加し、働く人たちの暮らしに大きな影響を与えている。失業の広がり防ぐために、雇用調整助成金のコロナ特例措置が策定されている。実施状況と助成金の継続・改善・拡充を国に要求することについて伺う。</p> <p>(8) 緊急小口資金の貸付状況と拡充について伺う。</p> <p>3 沖縄戦跡国定公園の園地整備について</p> <p>(1) 糸満市の南端部は沖縄戦跡国定公園に指定されている。この中で喜屋武園地の休憩舎は平和の塔の参拝者や観光客にとっても重要な休養施設となっている。慰霊の日には平和の塔前で行われる喜屋武住民の慰霊祭においても重要な役割を果たしている。休憩舎が老朽化でコンクリートの剝離落下が起り、使用中止になっている。休憩舎の改善、改築について県の見解を伺う。</p> <p>(2) 大度園地は、ダイビング訓練や初心者のサンゴ観賞の場として広く県民、観光客に親しまれている。また糸満市はジョン万次郎の上陸の地としてモニュメントの設置をしている。自然公園の施設地区として、保全活用について県の見解を伺う。</p>			

- (3) 山城米須海岸は県内で数少ないサーフィンスポットとして利用者が多いところである。自然公園計画でサーフィンに利用できる園地整備について県の所見を伺う。
- 4 「戦争遺跡保存条例」を制定し、戦争跡地を指定し、保存、整備を進めることについて県の所見を伺う。
- 5 高齢者対策について
 - (1) 特別養護老人ホームの待機状況と増設計画について伺う。
 - (2) 養護老人ホームの措置状況について伺う
- 6 沖縄県泊卸売市場の糸満市への移転計画について伺う。
- 7 県道豊見城糸満線の今後の整備計画について伺う。
- 8 我が党の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和2年第6回沖縄県議会(定例会)

09月30日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	当山 勝利(沖縄・平和)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 港湾物流における対策について</p> <p>ア 外貿の無線検疫では、港湾作業員の安全を十分担保できず、改善が必要であると考え る。対策について伺う。</p> <p>イ 着岸した船の船員が感染もしくはその可能性がある場合、港湾管理者としての対応策に ついて伺う。</p> <p>ウ 港湾作業員のマスク、防護服など感染を防ぐ消耗品の補助について伺う。</p> <p>2 沖縄県の港湾について</p> <p>(1) 港湾建設費の推移について伺う。</p> <p>(2) 県内重要港湾における港湾別貨物量の推移について伺う。</p> <p>(3) 本島重要港湾の物流の約7割が那覇港に集中している現状について、どのように認識し ているか伺う。</p> <p>(4) 那覇港に不測の事態が起こった時を想定し、代替港は準備されているか伺う。</p> <p>(5) 過密化する那覇港の物流を補完する港として、中城湾港を整備することについて伺う。ま た、中城湾港を整備することで、浦添埠頭のさらなる埋立ては不要になると考えるが伺う。</p> <p>3 再生医療について</p> <p>(1) 県の目指す再生医療について伺う。</p> <p>(2) 再生医療産業拠点の形成について、今後の取組を伺う。</p> <p>4 特別支援教育について</p> <p>(1) 発達障害の子供たちの支援をする通級教室について</p> <p>ア 県内小中学校それぞれの通級教室数と児童数(自校通級、他校通級)について伺う。</p> <p>イ 他校通級は、児童・生徒や保護者に大きな負担がかかるが、どのように認識しているか 伺う。</p> <p>(2) 通常学級における発達障害の子供たちを支援する先生方の研修について伺う。</p> <p>5 那覇軍港の浦添移設について</p> <p>(1) 那覇軍港の浦添移設は牧港補給基地の返還が決まる前に決定された。しかし、牧港補 給基地は、時期も含め返還が決まり、その作業は現在進められており、その地先に軍港 を移設することは不合理で無理がある。遊休化した那覇軍港は、移設なき返還をすべ きである。また、牧港補給基地の返還による跡地利用とその計画を踏まえた上での西海岸 開発が求められている。那覇空港や都心の近くに自然豊かな海が残されていることから、 世界的なリゾートを見据えた海と親和性の高い跡地利用も十分に考えられる。浦添西海 岸に那覇軍港が移設されることにより、跡地利用に大きな支障が出ることは容易に想像で きる。基地移設は自然を破壊し、経済的な阻害要因となる。知事の見解を求める。</p> <p>6 我が会派の代表質問との関連について</p>			